

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2004-233347(P2004-233347A)
【公開日】平成16年8月19日(2004.8.19)
【年通号数】公開・登録公報2004-032
【出願番号】特願2004-9302(P2004-9302)
【国際特許分類】

G 0 1 J 4/04 (2006.01)

【F I】

G 0 1 J 4/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源(610)と、
前記光源(610)に結合された偏光合成器(630)と、
前記偏光合成器(630)及び入力信号線(651)に結合されて、前記偏光合成器(630)によって選択された偏光方向におけるパワーに関連した信号を出力することが可能な偏光分解受信機(660)
とを備える、偏光分解ヘテロダイン受信装置。

【請求項2】

前記光源が掃引狭線幅光源(610)である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記光源が、偏波保持型光ファイバ(605)を使用して、前記偏光合成器(630)に結合される、請求項1または2に記載の装置。

【請求項4】

前記偏光合成器(630)が、単一モード光ファイバ(640)を使用して、前記偏光分解受信機(660)に結合される、請求項1乃至3のいずれかに記載の装置。

【請求項5】

前記偏光方向が円形である、請求項1乃至4のいずれかに記載の装置。

【請求項6】

前記偏光分解受信機(660)が第1と第2の出力信号を出力することが可能である、請求項1乃至5のいずれかに記載の装置。

【請求項7】

偏光子(620)が前記光源(610)と前記偏光合成器(630)の間に配置される、請求項1乃至6のいずれかに記載の装置。